

KIBOKO

木這子 Bulletin of the Tohoku University Library Vol.41, No.2



▶完成予想図

青葉山新キャンパス図書館が竣工

平成28年6月30日、青葉山新キャンパスに図書館が竣工しました。

図書館が入るのは、キャンパスモールに沿いユニバーシティパークに面した地上2階建て・床面積1万㎡の共用建物で、ほかに農学部講義室や食堂・ショップも入ります。

農学部の青葉山新キャンパス移転に伴い、現農学分館の機能を新図書館に移設し、アクティブ・ラーニングの場であるラーニングコモンズも新設します。オープンは平成29年4月を予定しています。



夏号

Contents

表紙

青葉山新キャンパス図書館が竣工

TOPICS

- 日EUフレンドシップウィーク展示2016「EUと宇宙」展の開催 2
- 新入生オリエンテーション&情報探索のススメ入門編 開催 3
- 医学分館オリエンテーション・講習会を実施 3
- 金属材料研究所図書室オリエンテーションを実施 4
- 留学生コンシェルジュ・ウィーク2016(春)を開催 4

LEARNING

- 電子ブックのススメ(8) 国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」を活用しよう! 5

SERIES

- 「ゆかりの人々」 6
東北大学金属材料研究所 所長 高梨弘毅
- <つながり>の一冊 6
『コーヒーの科学』
工学研究科 博士課程 1年 矢部岳大

Information

- 夏目漱石関連展示について 7
- 青葉山新図書館竣工記念
リユースブックフェアを開催 8
- グローバルフロアに英語以外の多読用テキスト
が入りました 8

日EUフレンドシップウィーク展示2016「EUと宇宙」展の開催

本館恒例の日EUフレンドシップウィーク展示ですが、今年は「EUと宇宙」というタイトルで平成28年5月25日(木)から6月26日(日)の期間に開催しました。EUと宇宙って？と意外に思う方も多いと思いますが、実はEUや欧州諸国では宇宙研究、宇宙開発が盛んです。そしてわが国や東北大学との協力連携も盛んに行われています。

今回の展示では、EUの宇宙への取り組みについて、EU独自の宇宙開発プロジェクトやESA（欧州宇宙機関）との協働プロジェクトの紹介、CERN（欧州原子核研究機構）を中心とした宇宙の成り立ちの研究の紹介、そして東北大学とEUの宇宙協働開発の紹介という3つの内容でパネル展示を行いました。

また展示内容から問題を出題し、全問正解するとEUグッズをゲットできるクイズ企画も実施しました。

展示内容については、工学研究科機械知能系宇宙探査工学研究室の吉田和哉教授に監修を頂きました。東北大とEUとの宇宙共同開発の紹介では、吉田研の成果もあわせて展示し、吉田先生がTED×Tohokuで講演された時の動画の上映コーナーも設置しました。

また平成28年6月10日(金)には、「宇宙探査ロボットの研究と

日EUフレンドシップ」というタイトルで、吉田先生の特別記念講演をグローバル学習室で開催しました。第一部では吉田先生の講演を、第二部ではフランスのストラスブールにある国際宇宙大学

(ISU) に本学から留学した大学院生のトークセッションを開催しました。

当日は、東北大学を将来目指す高校生をはじめ、約80名という多くの方々に来場いただきました。アンケートにも「宇宙への興味をかきたてられました」、「ISUに行ってみよう」という声がありました。この展示と講演をきっかけに、将来EUや欧州とともに宇宙に携わる人材が輩出されれば、展示企画者としても嬉しいところです。



▶吉田和哉教授（工学研究科機械知能系宇宙探査工学研究室）



▶「EUと宇宙」展の展示会場



▶観覧の様子



▶特別記念講演会



▶吉田教授を囲んでの講演会後の記念撮影

新入生オリエンテーション&情報探索のススメ入門編 開催

本館では、平成28年4月1日(金)～13日(火)まで(土日除く)、新入生向けの図書館オリエンテーションと館内ツアーを行いました。図書館の概要や利用方法のガイダンスと館内ツアーを行い、664名の参加がありました。約400万冊の蔵書を持つ東北大学の図書館の概要や、ラーニング commons を中心とする館内各エリアを紹介し、大学図書館独特の多様な機能やサービスを知っていただきました。

また4月25日(月)～28(木)、5月10日(火)～13日(金)までの24回にわたり、図書館講習会「情報探索のススメ」を開講しました。今回は「学術情報の集め方」「図書の探し方」「雑誌論文の探し方」「新聞記事の探し方」の4つの内容からなる「入門編：30分で分かるシリーズ」を開催し、参加者数は388名でした。大学生としての基本技術である情報探索を身につけることで、さらに良質なレポートや論文を作成してもらえればと思います。



▶ 館内ツアー



▶ 図書館オリエンテーション



▶ 情報探索のススメ・入門編

医学分館オリエンテーション・講習会を実施

医学分館では、医学部保健学科新入生向けのオリエンテーションと館内ツアー、そして病院など星陵地区の新任の教職員及び新入大学院生向けの講習会を毎年実施しています。

平成28年度は、オリエンテーションでは約150名を対象に、1年生でも朝7時～夜24時まで入館できることなど、医学分館を有効活用できるよう、利用方法を案内しました。

館内ツアーでは29名の参加がありました。

講習会では、教職員・院生あわせて15名の参加がありました。受講後すぐに論文探索ができるよう、利用案内のほか、論文ナビゲーターの使い方と、星陵

地区で使えるデータベースの紹介を行いました。

医学系データベースの活用については、7月にも講習会を行う予定です。興味のある方は、ぜひご参加ください。



▶ 講習会テキスト



▶ オリエンテーションの様子

金属材料研究所図書室オリエンテーションを実施

金属材料研究所では、例年図書室と教員との共催により図書室オリエンテーションを実施しています。平成28年は4月25日(月)に開催し、新大学院生を中心に35名の参加者がありました。

図書室職員から図書室の利用方法を案内したほか、教員から「Alloy Phase Diagrams」「Phase Equilibria Diagrams」「ICDD Cards」「International Tables for Crystallography」「ICSD」など、材料科学分野の研究で必須のデータベースのほか、今年度は新たに、特許データベース「J-PlatPat」について解説いただきました。



▶金属材料研究所オリエンテーション会場

留学生コンシェルジュ・ウィーク2016(春)を開催

平成28年4月18日(月)～22日(金)の5日間、本館の留学生コンシェルジュによる企画イベント『留学生コンシェルジュ・ウィーク2016(春)』を開催しました。内容は、昨年から試みている国際交流イベント「グローバルセッション」と、コンシェルジュの母国語による「新入留学生向け図書館ガイダンス」からなり、図書館におけるグローバル・ラーニングを支援するとともに、留学生コンシェルジュの活動をPRすることが目的です。



▶グローバルセッション
第2部：おすすめの本を英語で紹介中

18日(月)に開催した「第4回グローバルセッション」では、「ようこそ東北大学図書館へ 図書館を楽しもう!」のテーマで、3部構成のイベントを行いました。

第1部は「留学生コンシェルジュを活用しよう!」と題して留学生コンシェルジュの活動紹介とメンバーの自己紹介を通じてPRを行いました。



▶グローバルセッション
第3部：各国の音楽に合わせて小包を回すゲーム

第2部では、「みんなで選ぼう! 東北大学図書館のおすすめ

め本を紹介」と題し、コンシェルジュと一般参加の教員・学生が好きな本を英語で紹介し、投票で優勝者を決めるという異文化交流を体験していただきました。



▶中国語ガイダンスを行うコンシェルジュ(丁さん・中国出身)

第3部では、「留学生コンシェルジュと海外のゲームを楽しもう」と題し、留学生コンシェルジュと様々な言語を話す参加者が一緒にゲームを通じて交流しました。

これらの企画に加えて、4月入学の新入留学生を対象とした「中国語」「韓国語」「タイ語」「インドネシア語」「英語」による図書館ガイダンス&ツアーも行いました。

会期中には留学生を中心に計55人の参加者があり、留学生・日本人学生の交流の場として盛況となりました。本館では今後も留学生コンシェルジュのスキルを生かした講習会やイベントを通して、留学生・在学生へのグローバル・ラーニング支援を行います。



▶タイ語で館内ツアーを行うコンシェルジュ(サリンラットさん・タイ出身)





電子ブックのススメ(8)

国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」を活用しよう！

国立国会図書館のデジタルコレクションをご存知ですか？

これは国立国会図書館で収集した資料のうち、250万点以上をデジタル化したコレクションで、従来は同図書館内でのみ利用することができました。このうち、絶版等の理由で入手が困難な資料は「デジタル化資料送信サービス」を利用し、東北大学からも閲覧・複写することができるようになりました。本館では平成27年12月から、北青葉山分館では平成28年3月からサービスを開始しています。



どのような資料を利用できる？

- 図 書** 国立国会図書館が昭和43年までに受け入れた図書約50万点
- 古 典 籍** 明治期以降の貴重書等約2万点
- 雑 誌** 平成12年までに発行された雑誌（商業出版されていないもの）約67万点
- 博士論文** 平成3～12年度に送付を受けた論文（商業出版されていないもの）約12万点

検索結果を確認しましょう。「インターネット公開」資料はそのまま閲覧可能です。「図書館送信資料限定」となっている資料は本館・北青葉山分館で閲覧・複写できます。



■ 利用方法

利用できる方 本学所属の方（東北大IDをお持ちの方）

利用方法（閲覧・複写） **本館** レファレンスデスク **北青葉山分館** カウンター } にお申し込みください。

【受付時間】 月～金 本館 8:30～17:00（複写は16:30まで）
北青葉山分館 9:00～17:00

【印 刷】 1枚：（白黒）20円 / （カラー）40円 ※複写は著作権法の範囲内で可能です。

貸出や複写ができない古典籍、貴重な古い雑誌も閲覧できます。当館になくてもこのサイトから読めるかも!?



SERIES

「ゆかりの人々」 東北大学金属材料研究所 所長 高梨弘毅

シリーズ「ゆかりの人々」は、「東北大学ゆかりコレクション」にちなみ、本学の教職員、卒業生など、東北大学にゆかりのある方々の著書について、ご本人に様々なエピソードを含めて、ご紹介いただくコーナーです。シリーズ16回目は、本学金属材料研究所高梨弘毅所長です。



今年で創立百周年を迎えた金属材料研究所(金研)は、創立以来多くの実用材料を生み出してきました。特に、創立と同じ年(1916年)に初代所長本多光太郎先生が発明したKS磁石鋼(当時世界で最強の磁石)を皮切りに、さまざまな磁性材料が作られました。過去から現在まで、磁性材料そして広く「磁気」の分野において、金研そして東北大学は圧倒的な強さを誇っています。



「磁気工学入門
- 磁気の初歩と単位の理解のために」
高梨弘毅著、日本磁気学会編、共立出版(2008年)
金研図書室(図書) 1E/B148

本書の特徴は、副題にあるように、磁気の単位について詳しく説明されていることです。磁気の入門書は世の中にたくさんありますが、単位についてこれほど詳しく書かれた本は、世界的にも他に類を見ないでしょう。自然科学の分野では、数十年も前からMKSAを基本としたSI単位系への統一が進んでいますが、磁

気分野では、驚くことに、いまだにかなりの人がCGSガウスと呼ばれる単位系を使っています。最近のすべての教科書は、磁気に関する内容でもSI単位系で記述されているのですが、現場ではまだCGSガウス単位系がまかり通っているので、初学者はまず単位系のわかりにくさでつまづいてしまいます。私は、SI単位系とCGSガウス単位系が完全併記の教科書が必要だとかねてから考えており、この本で実現しました。また、単位系の成り立ちについても詳しく解説し、磁気分野でいまだにCGSガウス単位系が使われているのは、磁気に携わる人たちが必ずしも頑迷固陋なのではなくて、磁気に対する本質的な考え方が単位系と密接に関係していることを述べています。



「金属材料の最前線
近未来を拓くキーテクノロジー」
東北大学金属材料研究所編著、ブルーバックス、講談社(2009年)
本館2F学関 MC131/0281

本書では、金研の教授陣が章毎に分担執筆し、各々の専門分野について一般向けにわかりやすく解説しています。しかし、各章で執筆者の個性が現れ、難易度もさまざまで、それが本所の面白さでもあります。私は「第10章 磁性材料とエレクトロニクス」を執筆しました。なるべくわかりやすくするために、新入学生の意見を聞きながら書きましたが、どのくらいわかりやすいかは、読者の皆さんに判断していただきたいと思います。

SERIES

〈つながり〉の一冊 「コーヒーの科学
- 『おいしさ』はどこでうまれるのか」

科学と向き合う機会を

工学研究科知能デバイス材料科学専攻 博士課程1年 矢部 岳大

シリーズ〈つながり〉の一冊は、学生の皆さんに、感銘を受けた本や、他の学生さんにお薦めしたい本、ご自身の研究上影響を受けた本などを紹介しながら、つながっていく<リレーエッセイ>です。



皆さんは自然科学に触れる機会を設けていますか。人間と異なる存在をより深く理解するために時間を割いていますか、と置き換えても良いでしょう。今週末は、それこそ一杯のコーヒーでもお供にして、文学の枠を離れて自然科学に触れてみませんか。

疑似科学の台頭、科学リテラシーの欠如、子供・大人の理科離れ、などの話題を聞くたびに悲しい気持ちになります。私は皆様に『あなたなりの態度で良いのもっと科学に触れてみてください』というメッセージをお届けします。少しずつ科学に触れる機会を増やして欲しいのです。

その第一歩として幅広い人に興味を持って頂けそうな本書「コーヒーの科学」を紹介します。お酒や睡眠の科学といった類書もありますから、あなたにとっての興味深い情報を探して頂ければ幸いです。また、科学のスタートである「なぜ?」は人によって別々の対象に向けられるものですから、「あなたなりに」接して頂ければ十分です。

ところで、サイエンスは難しい、と敬遠する声をよく聞きます。冒頭で自然科学に触れることを「人とは違う存在を理解すること」と表現しました。もし「サイエンスは自分の考えと合致しないから難しい」という考えをお持ちでしたら、あなたの考えとどこがどのように違っているのか、少し時間をかけて考えてみては

いかがでしょうか。自分の考えとは違う視点をじっくり咀嚼する過程で、あなたは柔軟な考えと洞察力を身につけていきます。その洞察力と柔軟性を鍛えること、情報の信憑性を正しく判断できる能力の養成こそ、科学を通して得られる大事なものだと考えています。

科学は決して研究者・科学者だけのものではありません。入門書なのに内容が難解という場合もありますが、「あなたなりに」理解できるところから科学に触れてみてください。

Information

夏目漱石関連展示について

附属図書館本館では、明治の文豪夏目漱石の旧蔵書三千余冊や日記、書簡、原稿・草稿等の自筆資料からなる漱石文庫を所蔵しています。

今年は、漱石没後100年に、来年は漱石生誕150年にあたり、様々な機関で関連展示等が企画・開催されており、朝日新聞紙上では漱石作品の再掲載なども行っています。本館でも幾つかの漱石関連展示の企画を進めています。

○企画展『東北大学の夏目漱石展』(本館)

その皮切りとして、3月25日～4月25日に『東北大学の夏目漱石』展を行い、自画像入り葉書や博士号辞退書簡などの選りすぐった資料を展示し、新入生オリエンテーションの際など、多くの方々にご覧いただきました。

○PR展『漱石文庫～文豪が遺した創作の背景～』(青葉通地下道ギャラリー)

今後は、9月2日(金)～9月14日(水)にかけて、市内中心部の青葉通地下道ギャラリーで当館企画展『漱石文庫～文豪が遺した創作の背景～』のPR展を行います。会期中の9月10日(土)・11日(日)には、定禅寺ストリートジャズフェスティバル in 仙台も開催されます。皆さんもお近くをお通りの際には、ぜひ、足を止めてご覧ください。

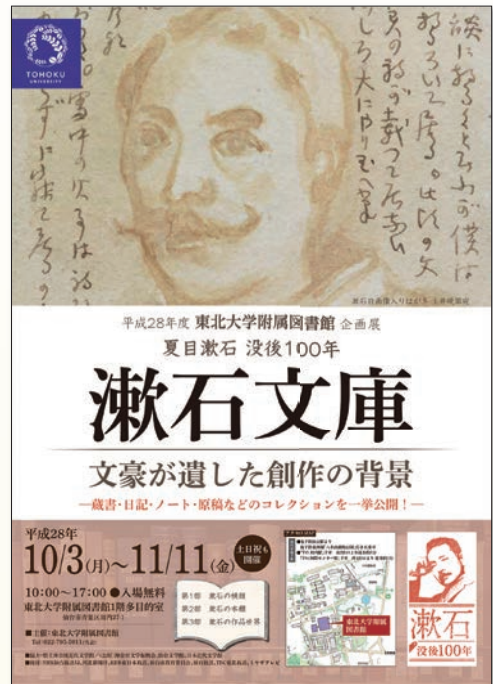
○企画展『漱石文庫～文豪が遺した創作の背景～』(本館)

その後、10月3日(月)～11月11日(金)にかけて、平成28年度 東北大学附属図書館企画展『漱石文庫～文豪が遺した創作の背景～』を当館1階多目的室で開催します。第1部：漱石の横顔、第2部：漱石の本棚、第3部：漱石の作品世界と題し、原稿や草稿を始めとして普段は目にする事の出来ない漱石文庫資料を一挙に公開します。なお、この期間中に講演会も企画しています。

県立神奈川近代文学館で4月に行われた特別展「100年目に会おう 夏目漱石」には当館の漱石文庫資料を多数出陳しました。現在は、東京理科大学近代科学資料館の企画展で当館の漱石文庫資料がパネルで展示されています。

また、9月24日から11月26日にかけて日本近代文学館で行われる「絵はがきの中の漱石」展には、漱石文庫の中から選りすぐりの絵葉書数点の出陳予定もあります。

なお、漱石生誕150周年にあたる来年は10月から11月にかけて学外施設での大々的な漱石展を企画中です。当館所蔵の漱石文庫だけではなく、漱石に関わる人々にも焦点を当てる等、漱石の人となりに迫る内容になりそうです。お楽しみに。



▶企画展「漱石文庫」チラシ



▶「東北大学と夏目漱石」展示

Information

青葉山新図書館竣工記念 リユースブックフェアを開催

青葉山新キャンパスの新図書館が竣工したことを記念して、平成28年7月5日(火)～7月18日(月)に「リユースブックフェア」を開催します。

現在、本館 中2階ラウンジにリユースコーナーを設置していますが、この期間は会場を1階エントランス展示コーナーに移して、より多くの図書を提供する予定です。

配布対象となる図書は、改訂等で内容が古くなったものや、複数部所蔵しているもので、今後も使用が見込まれないと判断されたものです。お一人何冊でもお持ちいただけますので、ぜひお立ち寄り下さい。



グローバルフロアに英語以外の多読用テキストが入りました

グローバルフロアには、グローバル資料室に国連やEU、東日本大震災などの資料を、グローバル学習室に、留学生用図書や語学学習用の多読資料を多数備えています。

英語多読のテキストは約16,000冊備えられていますが、さらに、平成27年度に英語以外の6か国語の多読用テキストを購入しました。内訳はドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語の6言語約580冊です。語学カアップには是非ご利用ください。



▶グローバルフロアリーダーズコーナー



Tohoku Univ. Library
@hagi_no_suke

東北大学附属図書館のツイッター公式アカウントです。東北大学生の学習と生活のためにつばやきます。
http://twilog.org/hagi_no_suke
Sendai, Miyagi, JAPAN